

英語が あふれるまち いわくに

概要版



本市では、「基地との共存」を掲げ、基地があることで、市民の皆様に様々な負担があることは確かであるが、基地を否定的に捉えるのではなく、基地があることを前提に市勢発展のために活かしていくという現実的かつ前向きな視点で取り組んでいくこととしています。

これを受け、令和元(2019)年度に策定した第2次岩国市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、「英語交流のまちIwakuniの推進」を施策に加え、本市の地方創生を推進することとしています。

この度、若い世代を中心とした幅広い層における英語の学びと学び直し、そして国際交流の機会が充実した魅力的な「英語交流のまち」を実現させるため、「英語交流のまち Iwakuni 創生プロジェクト基本方針」を策定しました。

この基本方針に基づき、日本語や日本文化を大切にしながらも、英語教育や英語を核としたまちづくりを行うことで、生きた英語が使える、訪れたい国際都市を実現し、さらには、あたたかな交流による「ひと」の相互理解と、移住定住や商業・観光の推進による「まち」の活性化を目指します。

第2次岩国市総合計画

第2次岩国市まち・ひと・しごと創生
総合戦略

<対象期間>

令和2(2020)年度～令和6(2024)年度

<基本目標>

未来へつながる交流都市岩国
～若い世代に選ばれるまち～

<本プロジェクトの位置づけ>

「4-5 多文化共生社会の推進」の中の
「4-5-2 英語交流のまち Iwakuni の推進」

本市の特性を活かし、英語の学び・学び直しや国際交流の機会が充実した魅力的な「英語交流のまち」を実現することで、若い世代を中心とした幅広い層に選ばれるまちとして移住・定住を促進し、地域活力の向上を目指します。

英語交流のまちIwakuni
創生プロジェクト
基本方針

岩国市英語教育推進計画

<策定>

平成30(2018)年10月

<岩国市が目指す英語教育>

本市の児童生徒が、岩国市に育ったことに自信と誇りを持ち、様々な文化などの背景を持った世界の多種多様な人々との出会いを楽しみ、互いの文化の違いを理解しつつ、英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする姿を目指して、英語教育を推進する。

基本方針検討に向けた留意点

我が国の社会環境変化、本市の現状、一般市民、小・中学生、事業者へのアンケート調査、ワークショップ、検討会における委員意見等より、基本方針の検討にあたり考慮すべきと思われる留意点は次のとおりです。

留意点 1

英語の重要性の高まり

- グローバル化の進展、訪日外国人の増加、インターネットの普及等により、多くの市民や小・中学生が英語の重要性の高まりを実感しています。

留意点 2

活力ある地域づくりに向けた移住定住促進

- 子ども向けの教育が優れた自治体であることは、移住や定住に向けて一定の役割を果たすものと想定されます。

留意点 3

子どもの英語教育への市民の高い関心、学校の英語教育への期待

- 多くの市民が、学校の英語教育に大きな期待をかけています。市では小学校1年生からの英語教育実施、指導者育成、ALT^{*}の積極的な導入、公費負担での英語検定等を行っています。今後も、これらの継続実施と、更なる充実が期待されます。

留意点 4

社会人の英語習得ニーズの多様性

- 多くの市民が、機会があれば英語の学び直しをしたいと考えていることがわかりました。レベルにあわせた英語力を伸ばせる環境づくりが必要です。

留意点 5

イベントや事業の情報提供が不十分

- 本市の取組やイベントを市内外に知らせる仕組み、「知っていたら行きたかった、活用したかった」という層に、確実に情報を届ける工夫が必要です。

留意点 6

共感しあえる話題による自然な国際交流の必要性

- 多様な外国人と市民の間で自然な交流を育むためには、興味関心や趣味を通じた交流の場等、相互に共感しあえる接点が効果的です。外国人の声も聴き、双方向の交流の場を生み出す必要があります。

留意点 7

外国人に親かなまちづくりに向けて

- 外国人が岩国を理解し、自然に過ごせる環境をつくるため、公共交通機関等のサインの充実、外国人向け情報の一元的な提供、ワンストップでイベントや生活情報にアクセスできる場の整備等が必要です。

留意点 8

英語力を生かした就業の場やマッチング等

- 業務で英語を使う事業者の多くが、英語ができる人材が不足していると回答しています。
- 岩国に移住したい人々が英語力を活かした就職先を探すことができるマッチング機能や、市民が英語力を更に磨くことができる講座、英語力を生かした創業・起業への支援の充実等が求められます。



※ALT: Assistant Language Teacherの略。英語の授業で日本人教師の補助をする外国語指導助手。



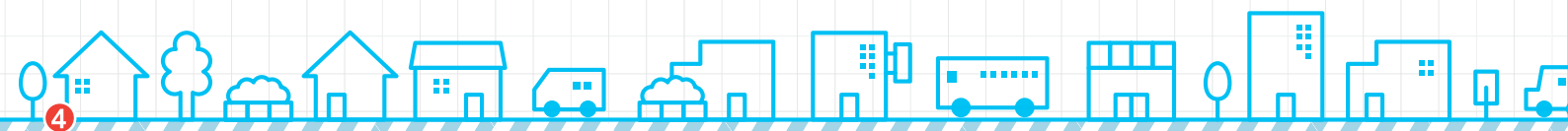
英語交流のまち Iwakuni

本市は基地とともに歩んできました。基地があることによる課題はあるものの、その一方で、市民と基地内住民の間で、様々な機会を通じて、互いに良き隣人であろうとする努力が絶えず続けられてきたのも事実です。

10人いれば1人はアメリカ人という英語のまちであることを地域資源と捉え、英語交流に優れた、生きた英語が使える・訪れたくなる国際都市として、英語教育及び英語を核としたまちづくりを行っていきます。これらにより、あたたかな交流による「ひと」の相互理解と、移住定住や商業・観光の推進による「まち」の活性化を目指します。



あたたかな交流による「ひと」の相互理解と、
移住定住や商業・観光の推進による「まち」の
活性化を目指します。





基本方針

1

英語が身につくまち

- 市民の誰もが、外国人との自然な交流のなかで、英語を身につけることができるまちを目指します。
- 将来を担う幼児、子ども、青少年が、これからの世界を堂々と、伸び伸びと切り拓いていくためのツールとして「英語」をストレスなく使いこなせるよう支援していきます。
- 市民がそれぞれのレベルに応じて英語の学びを選択できる環境を提供し、各人が望む英語レベルへの到達を支援します。
- 英語教育の推進に向けて、指導者研修の充実や教材の開発等を積極的に行います。

基本方針

2

英語でかがやくまち

- 子どもたちをはじめ、市民の誰もが、外国人と臆することなくコミュニケーションを図ることができるまちとなります。
- 英語力ある人材を求めている職場へのマッチング機能の充実等、英語力を生かした就業や就職を推進する仕組みを整備します。
- 海外との取引等、英語力を活用した新たな創業・起業を支援します。
- 英語に関する各種の取組を市内外に広くアピールすることで、本市のイメージの転換及び向上を図ります。
- 以上のような活動により、主に子育て世代を中心とする層の移住定住を促進します。

基本方針

3

英語でつながるまち

- 公共交通機関や施設のサイン等の英語表記を増やす、ワンストップで英語による生活情報が入手できる場を設ける等して、外国人にとっても住みやすく、過ごしやすい岩国づくりを目指します。
- 外国人と日本人が、興味関心や趣味等を通じて自然に交流しあうことができ、また、英語による様々なビジネスチャンスや働く機会を開拓できるような環境づくりに取り組みます。
- 国際交流や英語学習・日本語学習に関する情報が、必要としている人にきちんと届くよう、英語と日本語での情報収集・提供の仕組みづくりに取り組みます。
- 数年単位で異動することも多い基地住民に、日本や岩国のことを知ってもらうことで、お互いに住みやすい多文化交流と共生のまちづくりを目指します。

未来の「英語交流のまち Iwakuni」の姿



英語による自然な交流が当たり前になっています。

「英語ならいわくに」という存在感が日本中に知られています。

国際的な特性をいかし、日本の英語教育の先進的なまちになっています。



子どもたちへの取組

①学校を主とする英語の学び

- ◆ALT全校配置
- ◆英語能力到達度の確認
- ◆英語指導者研修の充実 等

②岩国ならではの英語環境を生かした特徴ある学び

- ◆イングリッシュキャンプ
- ◆基地内学校との交流
- ◆フレンドシップツアーin IWAKUNI(岩国基地内バスツアー)
 - ▲基地住民と市内中高生相互ホームステイ
 - ▲岩国を紹介するオリジナル英語教材と英語観光ガイド体験等
 - ▲映画、ミュージカル、よさこい等を日本人と外国人の子どもがともに制作、体験 等



G

R



B

C

A

(仮称)英語交流のまち推進センターでの取組

①情報の収集と市内外への発信・提供

- ◆英語交流のまち推進フォーラムの継続実施
- ◆マスコミでの露出を高める取組、マスコミとの良好な関係性づくり
 - ▲大都市や近隣市におけるPR活動
 - ▲SNSの活用 等

重点的
取組

②必要な情報を必要な人へ確実に提供

- 岩国情報発信サイトの構築(英語・日本語)と運用
- (仮称)英語交流のまち推進センターでの情報提供(英語・日本語)
- 街中や交通機関等へのポスター掲示等の取組 等

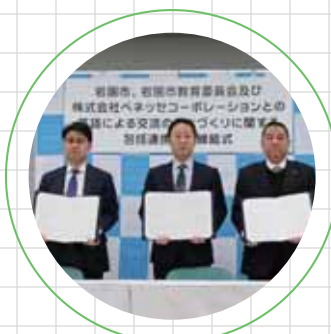
重点的
取組

P

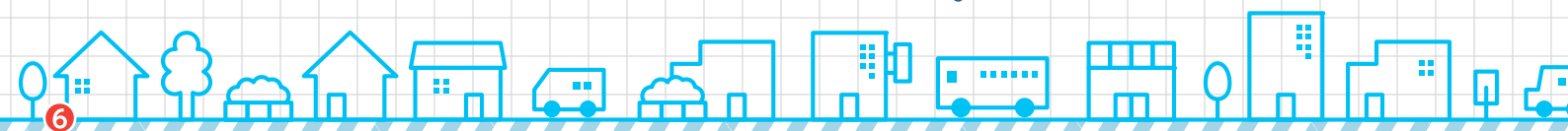


③日本人を対象とした事業

- 英語講座の実施
- 英語図書や教材の貸出
- 職業スキルアップ講座の実施
- コワーキングスペースの整備
- ▲英語人材と企業のマッチング
- ▲県・市の移住促進関連の窓口との連携 等

D
U
N

+



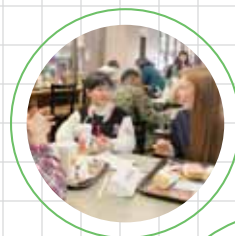
④外国人を対象とした事業

- 日本語講座の実施
- 日本文化体験講座の実施
- 英語による生活相談窓口の整備
- 英語による本市での暮らし情報、外国人向け観光やショッピング情報、体験型エンターテインメント情報等の提供
- 岩国商工会議所によるウエルカム・ステッカー（外国人の利用を歓迎する店舗に掲示）との連携 等

⑤日本人と外国人の自然な交流の場づくり

- イングリッシュカフェ、日本語カフェの開設
- アニメやゲーム、子育て、教育等、趣味やライフステージに共通する興味関心を通じて日本人と外国人が交流する場の整備 等

E



J



く

S

H

地域での取組

①英語表記の推進

- ▲公共交通機関や観光地のサイン等の英語表記の充実
- ▲本市ホームページや関連サイトの英語翻訳の充実 等

W



②交流イベントの充実

M

- ◆一流アスリートのキャンプ、芸術家による演奏会等の誘致と実施
- ◆日米の住民による運動会、日米親善リレーマラソン等スポーツ交流イベントの継続実施
- ◆岩国フレンドシップフリーマーケット等、文化交流イベントの継続実施 等

O

Z

N

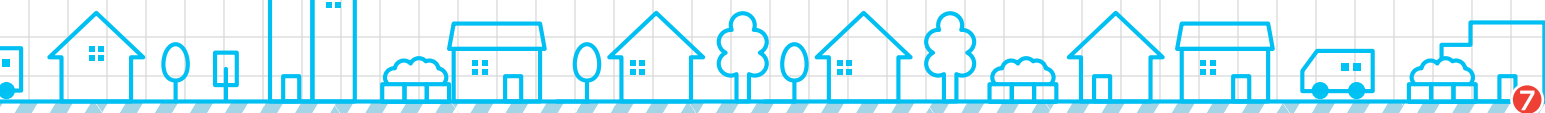
V

Y



K

Q



推進体制

英語交流のまちIwakuni創生プロジェクトチーム

【プロジェクトチーム(9課)】
広報戦略課、政策企画課、基地政策課、文化振興課、こども支援課、商工振興課、観光振興課、生涯学習課、教育政策課

【事務局】
教育政策課 英語教育推進室



英語交流のまちIwakuni創生プロジェクト検討会

【参加者】
産学官民からなる委員12名

【事務局】
教育政策課
英語教育推進室



推進スケジュール

	子どもたちへの取組	(仮称)英語交流のまち推進センターでの取組	地域での取組
令和元 (2019) 年度	学校を主とする英語の学び 岩国ならではの英語環境を生かした特徴ある学び	(仮称)英語交流のまち推進センターの整備 基本方針検討会において施設機能や事業内容を検討	英語表記の推進 交流イベントの継続
令和2 (2020) 年度	必要に応じて、市外の子どもの参加も視野に検討	建設地の決定、基本設計、実施設計、指定管理者選定の準備、業務仕様の作成(事業内容確定)	具体化に向けた手法検討
令和3 (2021) 年度	拡充しながら継続 継続に向けた仕組みづくりを検討	建設工事、指定管理者の選定事業準備、プレイベント 内装工事→開館	拡充しながら継続
令和4 (2022) 年度	拡充しながら継続	拡充しながら事業継続	あり方を検討、効果的な形態への変更も 実現に向けた取組
令和5 (2023) 年度			

岩国市

教育委員会 教育政策課 英語教育推進室

〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14番51号

TEL(0827)29-5201 FAX(0827)21-3456